【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成26年1月16日(2014.1.16)

【公表番号】特表2013-510609(P2013-510609A)
【公表日】平成25年3月28日(2013.3.28)
【年通号数】公開・登録公報2013-015
【出願番号】特願2012-538284(P2012-538284)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　6/04　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　77/30　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ　5/43
Ｂ６５Ｄ　77/30　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成25年10月29日(2013.10.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
コンドーム（１２）を保持する容器を形成するように、両方の縁の位置で結合されている２枚のフィルムが重なり合う部分（４，６）とコンドーム（１２）を有するコンドーム包装であって、該コンドームが巻き上げられた状態でコンドーム容器（１８）は前記フィルムの一方の部分に隣接する通常の位置にあり、コンドームを広げる通常の方向は前記フィルムの他方の部分の方向であり、前記コンドーム容器の側から該包装を開けるために前記フィルムの一部を裂くことができるように、前記コンドーム容器（１８）に隣接しているフィルムの前記部分は、開く領域の輪郭を示している第１の弱い線（８）と、前記第１の弱い線（８）によって外形が設定されている部分を把持する手段（１０）とを有し、前記コンドーム容器を引くことによって、コンドームを広げずに容易な取り出しを可能にしながら、開けた後で前記コンドーム(１２)を該包装（２）内で確実に保持するように、前記第１の弱い線（８）は概ねコンドームの輪郭に対応した形状であって、前記第１の弱い線の輪郭の直径は、前記コンドームの輪郭の直径よりも小さいことを特徴とする、コンドーム包装。
【請求項２】
前記第１の弱い線（８）の輪郭と前記コンドームの輪郭とは概ね円形であり、前記線の輪郭の直径は前記コンドームの輪郭の直径よりも１～１０％小さいことを特徴とする、請求項１に記載のコンドーム包装。
【請求項３】
前記容器に隣接している前記フィルムの部分（４）は、前記第１の弱い線の前記円形の輪郭から概ね半径方向に、且つ前記開いている領域から離れるように前記第１の弱い線から延びている少なくとも１つの追加の弱い線（１４）を有していることを特徴とする、請求項１または２に記載のコンドーム包装。
【請求項４】
前記コンドーム容器に隣接している前記フィルムの部分（４）は、前記第１の弱い線の輪郭上に均等に分散している数個の、好ましくは４個の追加の弱い線（１４）を有していることを特徴とする、請求項１または２に記載のコンドーム包装。

【請求項５】
前記把持する手段（１０）は、前記コンドーム容器に隣接している前記フィルムの部分の手触りによって識別できることを特徴とする、請求項１～４のうちいずれか一項に記載のコンドーム包装。
【請求項６】
前記把持する手段（１０）は、暗所で視認可能な、燐光性である、マーキングを有していることを特徴とする、請求項１～５のうちいずれか一項に記載のコンドーム包装。
【請求項７】
前記把持する手段は、前記第１の弱い線（８）によって外形が設定されている前記フィルムの一部に接続されているタブ（１０）を有し、前記タブ（１０）は、前記タブを引いている間の手がかりを最適化するように、第１の弱い線の位置の高さで前記フィルムのその部分に接続されていることを特徴とする、請求項１～６のうちいずれか一項に記載のコンドーム包装。
【請求項８】
前記タブ（１０）は、接着剤または融合によって、前記第１の弱い線によって外形が設定されている前記フィルムの一部に接続されていることを特徴とする、請求項１～７に記載のコンドーム包装。
【請求項９】
前記タブ（１０）は、該包装の残りの部分を構成する前記フィルムと同様のフィルムの一片でできていることを特徴とする、請求項７または８に記載のコンドーム包装。
【請求項１０】
前記第１および／または追加の弱い線は、ミリング、レーザービームによる弱化、穿孔、切断、化学的な処理のプロセスの１つによって作られていることを特徴とする、請求項１～９のうちいずれか一項に記載のコンドーム包装。
【請求項１１】
前記第１の弱い線の輪郭は、前記第１の弱い線によって外形が設定されている前記フィルムの部分を開いた後で該包装の残りの部分に付着したままであるように不完全であることを特徴とする、請求項７または８に記載のコンドーム包装。
【請求項１２】
前記第１の弱い線の前記輪郭は、前記第１の弱い線によって外形が設定されている前記フィルムの部分が開いた後で確実に分離するように完全であることを特徴とする、請求項１～１０に記載のコンドーム包装。